

第1学期学校評価アンケート結果の考察 R6.7月

八幡浜市立川上小学校

1 児童アンケートより

- ・全体的に家庭学習の時間と読書時間が減った代わりに、ゲームに費やす時間が増加傾向にある。特に宿題や自主勉強への取組について否定的な児童が多くなっている。
- ・あいさつは、現状維持ではあるが、地域の方へのあいさつや先取りあいさつについては十分とは言えない（課題がある）。
- ・縦割り活動を中心とした体験的な活動を増やしたこともあり、自分には良い所があると答えた児童が昨年度と比較して増えた。
- ・地域行事には、積極的に参加している。

2 保護者アンケートより（行事反省も含む）

- ・児童の評価と同様で、家庭学習や読書活動が減った分、インターネットやゲームに費やす時間が増えているように感じている。
- ・あいさつの状況は、学校では好感が持てるが、家庭では昨年度、同時期の結果より下降気味である。
- ・基本的な生活習慣に関する項目については、全体的にやや下降気味である。
- ・学校のことに関する項目については、好意的に捉えていただいている。
- ・児童の自己有用感の育成や分かる授業の推進については、多くの保護者に理解いただいていることがわかる。
- ・行事開催時期について、昨年度の反省を反映させ、時期を変更したことが、好評である。
- ・交通安全教室、子供みこしパレードについては、改善点の指摘をいただいたことから、今年度の反省を生かし、来年度の活動の改善に生かすようにする。
- ・児童にとっての環境不備については、優先して市に依頼してほしいという願いが強い。

3 教員アンケートより

- ・学校での読書活動については、教員の工夫もあり充実していると感じている。
- ・友達を大切に作る心の育成には、まだまだ課題があると感じている。
- ・生徒指導に関する教職員間の情報共有は十分行うことができている。
- ・もっと保護者や地域と連携して、子どもの教育活動をしたいと願う教員が多い。

アンケート結果を受けて2学期以降の対策

- ① 分かる授業の展開をはじめとして、集会や行事、より多くの体験活動の機会を通じて、さらに自己有用感や自己肯定感を高めていく。
- ② 「家庭学習・読書の時間＝ゲーム・インターネット時間」の公式をより啓発するとともに、各家庭でも意識してもらう。

課題から見る、今後の対応について

学校関係者評価委員

1 学期の課題	今後の対応とアイデア
<p>1 ゲームに費やす時間が増加傾向で、自主学習や家庭学習の時間が減少傾向にあることについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭でゲームをする時間を決める。時間を守らないと、次の日のゲームができないなど約束を決める。(大人もついスマホを手にとってるのでなかなか難しい面がある) ○ ゲームの時間を決めてはどうか。 ○ ノーゲームデーを曜日で設定している学校もあり、学校内で統一しておく、家庭や地域に声かけやすいのではないか。 ○ 勉強を習慣化するために、毎日時間を決めてやるようにする。モチベーションをあげるため、ほめることを中心に、少しでも自分で考えて自主学習に取り組ませることが大切だと考える。
<p>2 地域へのあいさつができていない児童への対応について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつは、できていると思う。児童と出会った時は、私も大きな声であいさつをしたいと思う。 ○ 大人からあいさつを心掛けてもらう。 ○ 公民館内では、お互いにあいさつする形ができています。 ○ あいさつの持つ意味、極力笑顔ですることの意味を、私自身から啓発していきたいと思う。
<p>3 早寝・早起き・朝ごはんに代表される基本的な生活習慣の定着をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早く寝れば、朝も早く目が覚めるし、朝食の時間も確保できると思うので、早く寝る習慣を心掛ける。 ○ 子供だけではなく、家庭への啓発が大切である。 ○ 家庭レベルで推進するしかないと思うが、自制してできない場合は、親が就寝前 30 分は電気を暗くするなど、子どもの健康を後押しすべきだと思う。
<p>4 いじめ根絶のために、友達を大切にすることを育成するためにできることは</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権集会や道徳の時間でのグループによる話し合いなど。 ○ 友達の良い所を見つけたり、してもらってうれしかったりしたことの発表を取り入れる。 ○ 一人一人の自己肯定感を育むこと。 ○ 想像力を養うことが大切。 ○ 大人が、友人・知人を大切にすることを普段から見せることが大事だと考える。相手の立場になって考えることができるよう、物の見方や考える力

	を育みたい。
5 学校閉校に向けた地域行事や、学校教育活動の取組の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校を支えてもらっている方々へのお礼を含めた集会を持つ。 ○ 学校の昔から今までの写真等を地域へ公開していく。 ○ 公民館としても協力していく考えである。 ○ 夏休み中は公民館を開放しているが、遊び道具で希望があれば、子どもに聞いてほしい。夏休みのきまり等を共有して、健全育成に努めたい。 ○ 閉校までは現状維持。閉校後は、当事者や受け手人数を考慮した、極力負担になりすぎない活動にすべきだと思う。